

DRV-MR480

スタンドアローン型

前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダー

取扱説明書 保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

もしものときは！！

必要な録画 / 記録ファイルが上書きされないように
本機の電源をオフして microSD カードを取り出してく
ださい。(→ P.25)

microSD カードを本機に挿入する前に 13 ページの
「microSD カードについて」をお読みください。

My-Kenwood (ユーザー登録)のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトにて会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

本書の見かた	3	録画する・写真を撮影する	27
ドライブレコーダー機能ガイド	4	画質の種類	27
録画機能について	4	メインユニットと2ndカメラの映像を切り替える	27
SDメンテナンスフリー機能について	5	録画・撮影画面のアイコン	28
安全上のご注意（必ずお読みください）	6	常時録画	28
内蔵電池について（本機は充電式電池を内蔵しています）	7	イベント記録	29
取り付けや配線について	8	駐車録画	30
使用方法について	10	駐車録画機能をオンにする	31
異常時の問い合わせ	11	手動で駐車モードを起動する	35
使用上のご注意	12	駐車モードを手動で解除する	35
取り付けについて	12	写真を撮影する（静止画記録）	36
ご使用について	12	フォルダ/ファイル構成	37
電源について	12	再生する	38
内蔵バッテリーについて	12	ファイル選択画面のアイコン	38
衛星受信について	12	ファイルを再生する	38
本機のお手入れ	12	再生メニューの操作	40
microSD カードについて	13	設定を変更する	41
本機で使用する microSD カード	13	各機能の設定を変更する	41
当社推奨 microSD カード	13	メニューの一覧	42
microSD カード使用上のご注意	13	LCD 表示時間の設定を変更する	45
ファイルについてのご注意	13	microSD カードをフォーマットする	46
各部の名称とはたらき	14	パソコンツールを使う	47
メインユニット	14	インストールする	47
2nd カメラ（車外後方撮影用）	15	録画ファイルの再生	47
操作ボタンとアイコンについて	16	故障かな？と思ったら	48
取り付け / 配線のしかた	18	共通	48
取り付け時のご注意	18	駐車録画	50
メインユニットを取り付ける	18	イベント記録	51
2nd カメラを取り付ける	19	KENWOOD ROUTE WATCHER II	51
接続する	20	表示メッセージ	52
推奨取り付け位置	21	付録	53
車載電源ケーブル CA-DR250（別売品）で接続する	23	モニター画面について	53
車載電源ケーブル CA-DR350（別売品）で接続する（駐車録画機能を使う場合の接続方法）	24	商標について	53
ご使用前に	25	ソフトウェアについて	53
電源をオン / オフする	25	ソフトウェア使用許諾契約書	56
microSD カードを入れる / 取り出す	25	主な仕様	58
		MEMO	60
		保証とアフターサービス	62
		保証書	64

本書の見かた

表記	説明
(→ P.34)	本書の参照するページを表しています。
「音声記録設定」	本機に表示されるメニュー名を表しています。
[]	本機のボタン名を表しています。
	手順の補足説明や制限事項について説明しています。
つづく	説明が次のページに続いていることを表しています。 右ページのみに表示します。

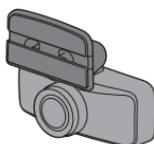
- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。
実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- 最新の取扱説明書やファームウェアのアップデート情報などについては、
当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/support/car/> をご覧ください。

本体 / 付属品

本体 (メインユニット)



車外後方撮影用カメラ
(ブラケット付き) x 1



シガープラグコード (3.5m)
x 1



車外後方撮影用カメラ
ケーブル (9.0m) x 1



メインユニット取付ブラ
ケット (両面テープ) x 1



アダプター付き microSD
カード (32GB) x 1



- microSD カードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。

ドライブレコーダー機能ガイド

本機は付属の microSD カードにメインユニットと車外後方撮影用カメラ（以降 2nd カメラ）の映像および写真を、LCD 画面の表示に関係なく同時に記録保存します。必ず microSD カードを挿入してからお使いください。

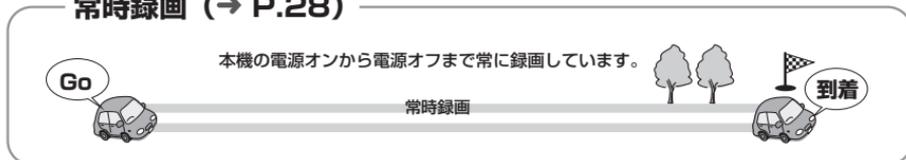
microSD カードの入れかたについては 25 ページをご覧ください。

録画機能について

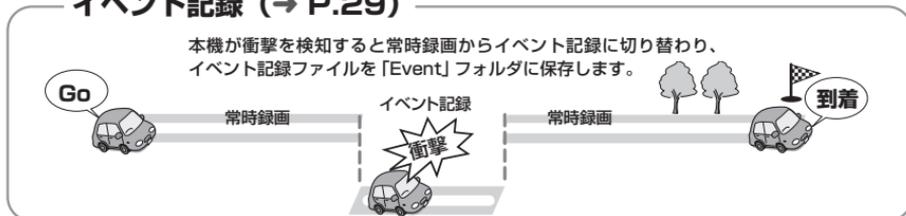
車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にしている間は、本機の電源がオンになり、常に録画を続けます（常時録画）。常時録画中に、車両に大きな衝撃が加わった場合は、その前後の映像を記録します（イベント記録）。

また、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350（別売品）を使用しているときは、駐車中、車両に大きな衝撃または動体を検知すると、映像を録画します（駐車録画）。イベント記録の衝撃検知、駐車モードの衝撃検知はメインユニットのみで機能します。

常時録画（→ P.28）



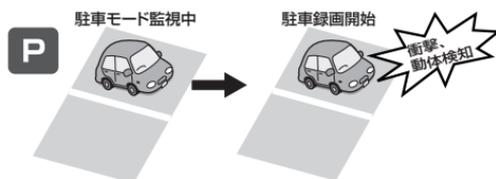
イベント記録（→ P.29）



駐車録画（→ P.30）

駐車中（エンジンスイッチをオフ）に本機が監視を行い、衝撃または動体を検知すると駐車録画を開始します。

・ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350（別売品）が必要です。また、駐車録画を使う場合は「駐車モード設定」で設定を行ってください。（→ P.31）



■ イベント記録の手动録画

常時録画中に本機の [] ボタンを押すと、イベント記録の手动録画を開始します。手动録画が終了すると常時録画に戻ります。(→ P.29)



■ 写真撮影（静止画記録）

録画中に本機の [] (上から3番目) ボタンを押すと、写真を撮影します。(→ P.36)



SD メンテナンスフリー機能について

本機は microSD カードの書き込みエラーが起きにくい独自システムを採用しています。そのため定期的なフォーマット（初期化）は不要です。ただし、付属の microSD カードもしくは推奨品以外をご使用の場合は、正しく動作しないことがあります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

■ 本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

● 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 著作権について

- ・録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

内蔵電池について（本機は充電式電池を内蔵しています）

危険



本機（内蔵電池）の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない

内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてはいけない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる

発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

警告



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

けがや事故の原因となります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

取り付けや配線について



警告



本機は DC12V/24V ⊖アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC12V/24V ⊖アース車以外で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取り付け許容範囲外に貼り付けない

視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ネジなど小物部品や microSD カードは乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

本機に付属のシガープラグコードを使用する

付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。

シガープラグは、確実に差し込む

確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。

シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く

コードが破損し火災、感電の原因となります。

使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く

車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。

シガープラグは定期的に清掃する

ほこりが付着していると火災の原因となります。



ぬれた手でシガープラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

使用方法について

警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止して電源コードを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



走行前に本機の取り付け状態を点検する

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意



落としたら使用を中止する

機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

取り付けについて

- 誤った取り付けをした場合は、本機が正しく動作しないことがあります。取り付け方向、取り付け角度など「取り付け / 配線のしかた」(→ P.18)を参照して本機を正しく取り付けてください。

ご使用について

- もしものときに備えて、本機の録画機能が正しく働いているか定期的に確認してください。本機で録画した microSD カードの映像を本機またはビューアーソフト「KENWOOD ROUTE WATCHER II」で再生し、最新のファイルが録画されているかなどの確認を行ってください。(→ P.38、P.47)
- カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- 車両のフロントガラス / リアガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 本機が応答しなくなった場合は、電源を入れ直してください。電源を入れ直すには本機の底面にあるリセットボタンを先端が細い爪楊枝等で押します。電源が切れて、再度オンになります。(→ P.15)
- LED 信号機の色が認識できなかつたり、ちらついたりする映像が記録される場合がありますが、本機の故障による症状ではありません。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、あらゆる状況においての映像の記録を保証するものではありません。

電源について

- 本機の動作電源電圧は DC5V です。必ず付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR250/CA-DR350 (別売品) を取扱説明書にしたがって接続してください。ケーブルの改造 (バッテリーに直接つなぐ) などは絶対に行わないでください。

内蔵バッテリーについて

- 本機は時計のバックアップをするためのリチウム二次電池を内蔵しています。
- 購入直後はバッテリーが十分に充電されていません。時刻がリセットされるときは、本機の電源を 1～2 時間オンにして充電してください。

衛星受信について

- 衛星信号は、固体物質 (ガラスを除く) を通過することができません。トンネルや建物の中にいる場合、衛星信号の受信ができません。衛星信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物 (例えば、樹木、高架橋または高層ビル) などの影響を受ける可能性があります。

本機のお手入れ

- 本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、柔らかい布で軽く拭いてください。強くこすると傷の原因になります。
- ご使用前にブラケットの接着面がはがれていないか、また、ネジの緩みなどがいないことを確認してからご使用ください。

microSD カードについて

本機で使用する microSD カード

- ・付属 microSD カード (32GB V30)
 - ・当社推奨 microSD カード
 - ・以下の仕様を満たす microSD カード
- | | |
|------------|------------|
| 容量 | 16GB～128GB |
| ビデオスピードクラス | V30 以上推奨 |
- ・すべての microSD カードでの動作を保証するものではありません。

当社推奨 microSD カード

- ・当社製 microSD カード (別売品)
詳細は https://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option をご覧ください。

microSD カード使用上のご注意

- ・市販の microSD カードを使用するときは、microSD カードに付属している取扱説明書もあわせてご確認ください。
- ・16GB 未満の microSD カードを使用する場合、記録が残らない場合があります。
- ・microSD カードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性を持っており、製品寿命があります。定期的に新しい microSD カードと交換することをお勧めします。
- ・microSD カードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。
- ・本機は microSD カードの書き込みエラーが起きにくい独自システムを採用しています。そのため定期的な初期化は不要です。ただし、付属の microSD カードもしくは推奨品以外をご使用の場合は、正しく動作しないことがあります。
- ・はじめに使用する microSD カード、また、パソコンや他の機器で使用した microSD カードを挿入するときは、microSD カードのフォーマット (初期化) が必要です。
- ・本機のデータ読み取りおよび書き込み速度は、microSD カードの仕様によって異なる場合があります。
- ・カメラなど、他の機器で microSD カードのフォーマット (初期化) を行うと、本機で正常に動作しません。microSD カードのフォーマットは必ず本機で行ってください。フォーマットできない microSD カードは使用できません。
- ・分解や改造を行わないでください。

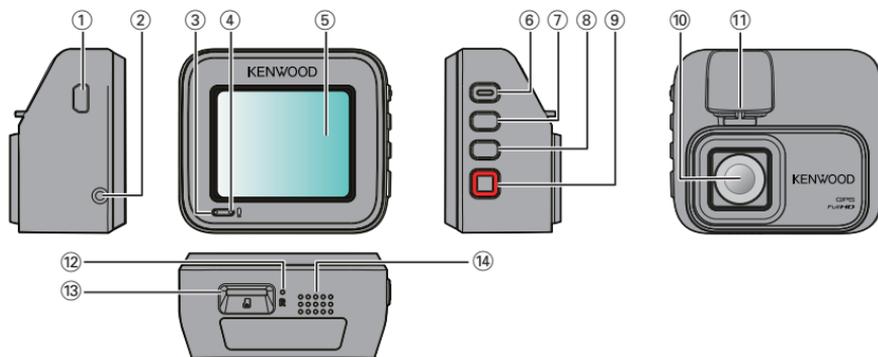
- ・microSD カードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、清潔で乾燥した場所に保管し、高温多湿の場所には放置しないでください。
- ・microSD カードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかいたりしないでください。
- ・データが壊れる可能性がありますので記録中や再生中に microSD カードを取り出さないでください。
- ・microSD カードは普通に使用していても正常に書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- ・必要なファイルは必ずパソコンなどに保存 (コピー) してください。
- ・microSD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・microSD カードを着脱するときは、方向を確認し、折り曲げたり強い圧力や衝撃を与えないでください。

ファイルについてのご注意

- ・microSD カード内の必要なファイルは必ずパソコンなどに早めに保存 (コピー) してください。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・microSD カードのフォーマットを行うと、保護したファイルを含むすべてのファイルが消去されます。
- ・本機の microSD カードフォーマットや削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、microSD カード内のデータは完全に消去されません。
- ・廃棄 / 譲渡の際は、microSD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って microSD カード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- ・microSD カード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

各部の名称とはたらき

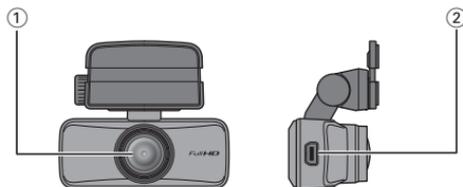
メインユニット



番号	名称	はたらき
①	電源入力端子	付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR250/CA-DR350 (別売品) を接続します。 (→ P.20、P.24)
②	2nd カメラ接続端子	付属の車外後方撮影用カメラケーブルを使って2ndカメラと接続します。(→ P.20)
③	LED インジケーター	本機の状態をお知らせします。 点灯 (緑) : 再生中、録画停止中、駐車録画待機中、メニュー表示中、手動電源オフ時 交互点灯 (緑 / 橙) : 録画中
④	マイク	録画中の音声を収録します。
⑤	LCD 画面	録画画面、再生画面、メニュー画面などを表示します。
⑥	【  】ボタン	録画中に押す : メニューを表示します。 メニュー表示中に押す : キャンセル、戻る、または終了ボタンとして機能します。 再生中に押す : 戻るボタンとして機能します。 2秒以上押し続けると電源をオン / オフします。
⑦	【  】(上から2番目) ボタン	録画中に押す : メインユニットと 2nd カメラの映像を切り替えます。 (→ P.27) 録画中に押し続ける : 本機の「駐車モード設定」が「オン」の場合、駐車モードが起動し、駐車モードの監視が始まります。(イベント記録中、LCD 画面オフ中は駐車モードが起動しません) メニュー表示中に押す : カーソルを上に移動します。 再生中に押す : 前のファイルを再生します。 再生中に押し続ける : 早戻しします。ボタンを離すと再生に戻ります。

番号	名称	はたらき
⑧	【  】(上から3番目) ボタン	録画中に押す：写真を撮影します。(駐車録画中、メニュー表示中など、画面にカメラアイコンが表示されていないときは写真を撮影できません) (→ P.36) メニュー表示中に押す：カーソルを下に移動します。 再生中に押す：次のファイルを再生します。 再生中に押し続ける：早送りします。ボタンを離すと再生に戻ります。
⑨	【  】ボタン	録画中に押す：イベント記録を開始 / 終了します。(→ P.29) メニュー表示中に押す：決定ボタンとして機能します。 再生中に押す：再生メニューを表示します。(→ P.40)
⑩	カメラレンズ	映像を広角レンズで撮影します。
⑪	取付ブラケット挿入部	付属の取付ブラケットを取り付けます。(→ P.18)
⑫	リセットボタン	本機をリセット (再起動) します。(→ P.12) リセットボタンを押しても、設定や録画・記録したファイルは消去されません。
⑬	microSD カード スロット	録画用の microSD カードを挿入します。(→ P.25) microSD カードスロットに microSD カードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。
⑭	スピーカー	警告音、ファイル再生時の音声を出力します。 音量の設定については、「システム設定」の「システム音設定」、「音量設定」をご覧ください。(→ P.44)

2nd カメラ (車外後方撮影用)



番号	名称	はたらき
①	カメラレンズ	映像を広角レンズで撮影します。
②	メインユニット 接続端子	付属の車外後方撮影用カメラケーブルを使ってメインユニットと接続します。(→ P.20)

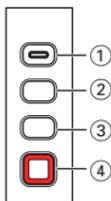
各部の名称とはたらき

操作ボタンとアイコンについて

■ 操作ボタン

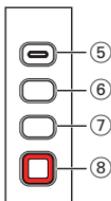
4つのボタンの機能を画面に表示されるアイコンで表しています。ボタンの機能は表示している画面によって異なります。

録画画面の一例：常時録画



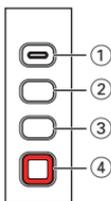
- ① メニュー画面を表示します。
- ② メインユニットと2ndカメラの映像を切り替えます。(→ P.27)
- ③ 写真を撮影します。
- ④ 手でイベント記録を開始します。もう一度押すと終了します。

メニュー画面の一例



- ⑤ 1つ前の画面に戻ります。
- ⑥ カーソルを上に移動します。
- ⑦ カーソルを下に移動します。
- ⑧ 決定します。

カスタム文字設定画面



- ① 1つ前の画面に戻ります。
- ② カーソルを左に移動します。
- ③ カーソルを右に移動します。
- ④ 決定します。

設定方法については、43ページをご覧ください。

■ アイコン

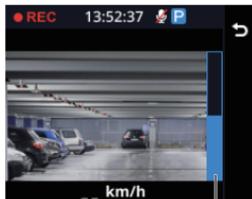
本機の動作状態をアイコンで表します。

常時録画画面



⑥

駐車モード画面



⑦

- ① 録画中に表示され、●(赤)が点滅します。
- ② 現在時刻を表示します。
- ③ 「音声記録設定」を「オフ」に設定したときに表示します。「オン」に設定したときは表示しません。
- ④ 「駐車モード設定」を「オン」に設定したときに表示します。「オフ」に設定したときは表示しません。
- ⑤ GPSの受信状態を示します。

アイコン	状態
	信号レベル: 3
	信号レベル: 2
	信号レベル: 1
	信号レベル: 0

- ⑥ 現在の車速を表示します。
表示を消すことはできません。
- ⑦ 駐車モード中にいずれかのボタンを押すと、駐車モード画面を表示します。
「駐車モード」—「検出方法設定」の設定を「動作&衝撃検出」にした場合の検出レベル(目安)を表示します。

取り付け / 配線のしかた

取り付け時のご注意

メインユニット / 2nd カメラ共通

- ・運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・他の車載機器（安全支援システム用カメラや防眩ルームミラーなど）に影響を与えない位置に取り付けてください。詳しくは車両の取扱説明書を参照してください。
- ・運転やエアバッグ動作の妨げにならないように取り付けてください。
- ・車両のフロントガラスが、反射コーティングで着色されている場合、電波を伝えにくくなり、衛星受信に影響を与える可能性があります。
- ・取り付け後、車両電装品が正常に動くか、必ず動作確認を行ってください。
- ・取り付け後、カメラレンズの保護シートを取り外してください。(→ P.20)
- ・ケーブル類は運転操作の妨げにならないように市販のソフトテープなどでまとめてください。
- ・ラジオアンテナの近くに取り付けおよび配線しないでください。ラジオの受信感度の低下やノイズの原因になる可能性があります。
- ・本機や本機の電源配線を地上デジタルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに取り付けおよび配線をしないでください。テレビの受信感度の低下やちらつき、ノイズの原因になる可能性があります。

メインユニット

- ・フロントガラス全体の上部 20%の範囲内、または運転者の前方視界を妨げない位置（ルームミラーで隠れる位置）に取り付けてください。
- ・ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・車検証ラベルなどに重ならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなる場合があります。

2nd カメラ

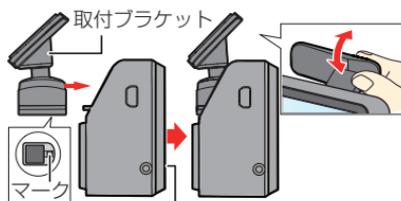
- ・直接リアガラスに取り付けてください。
- ・リアガラスに熱線がある場合は、熱線を避けて取付ブラケットの接着面を貼り付けてください。
- ・ワイパーが装着されている場合、ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなる場合があります。

メインユニットを取り付ける

1. 水平で安全な場所に車両を駐車する

2. 取付ブラケットをメインユニットのブラケット取り付け部に差し込む

フロントガラスに貼り付ける前に大まかな角度調整を行ってから取り付けてください。



LCD 画面側



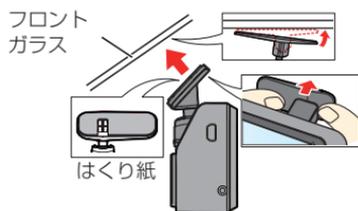
- ・取り付け方向を間違えると、正しい角度でメインユニットを取り付けることができません。上の図のようにマークがLCD画面側になるように取付ブラケットをメインユニットに取り付けてください。

3. メインユニットの推奨取り付け位置 (→ P.21) 参考にしてメインユニットの取り付け位置を決める

4. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る

5. 取付ブラケットの両面テープのはくり紙をはがし、フロントガラスに押しつけて取付ブラケットを貼り付ける

気泡が入らないように貼り付けてください。



- 両面テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後 24 時間以上放置してから使用してください。
- 一度はがした両面テープは再利用できません。

2nd カメラを取り付ける

1. リアガラスに貼り付ける前に角度調整ネジを緩めて、だまかな角度調整を行う

角度調整が終了した後は、緩めたネジを締め直してください。配線後に実際の映像を見ながら再調整してください。

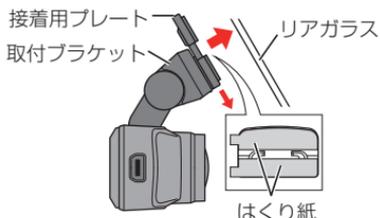


2. 2ndカメラの推奨取付位置(→ P.22)を参考にして2ndカメラの取り付け位置を決める

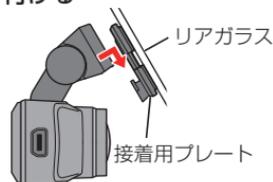
3. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る

4. 取付ブラケットから接着用プレートを取り外し、両面テープのはくり紙をはがし、リアガラスに押しつけて貼り付ける

2nd カメラ用の取付ブラケットは、取り付け後に上下方向の角度調整はできますが、左右方向の角度調整はできませんので注意してください。



5. 取付ブラケットを接着用プレートに取り付ける

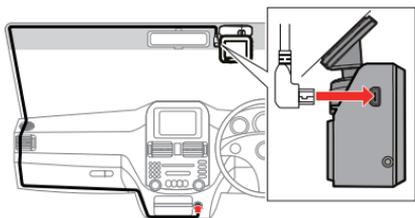


- 熱線に接着用プレートの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。
- 両面テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後 24 時間以上放置してから使用してください。
- 一度はがした両面テープは再利用できません。

取り付け / 配線のしかた

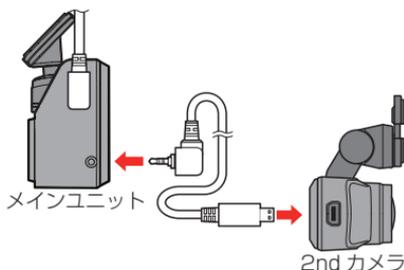
接続する

1. 付属のシガープラグコードのプラグ側をアクセサリソケットに、電源コネクタ側をメインユニットにそれぞれ接続し、配線する

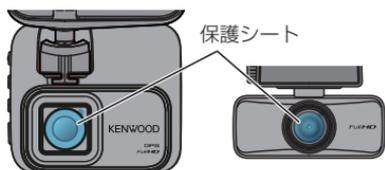


シガープラグコードには 12V から 5V に変換する回路が内蔵されています。シガープラグコードの改造、加工は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

2. 付属の車外後方撮影用カメラケーブルで 2nd カメラとメインユニットを接続し、配線する (→ P.22)



3. microSD カードを入れる (→ P.25)
4. カメラレンズの保護シートをはがす



5. エンジンスイッチを「オン」にする
6. [O] (上から 2 番目) ボタンを押して、メインユニットの映像に切り替える (→ P.27)
7. メインユニットの角度を再調整する
地上と空の比率が約 5 対 5 になることを推奨します。



*写真はイメージです

8. [O] (上から 2 番目) ボタンを押して、2nd カメラの映像に切り替える (→ P.27)
9. 画面を見ながら、2nd カメラの取り付け角度を再調整する
地上と空の比率が約 5 対 5 になることを推奨します。



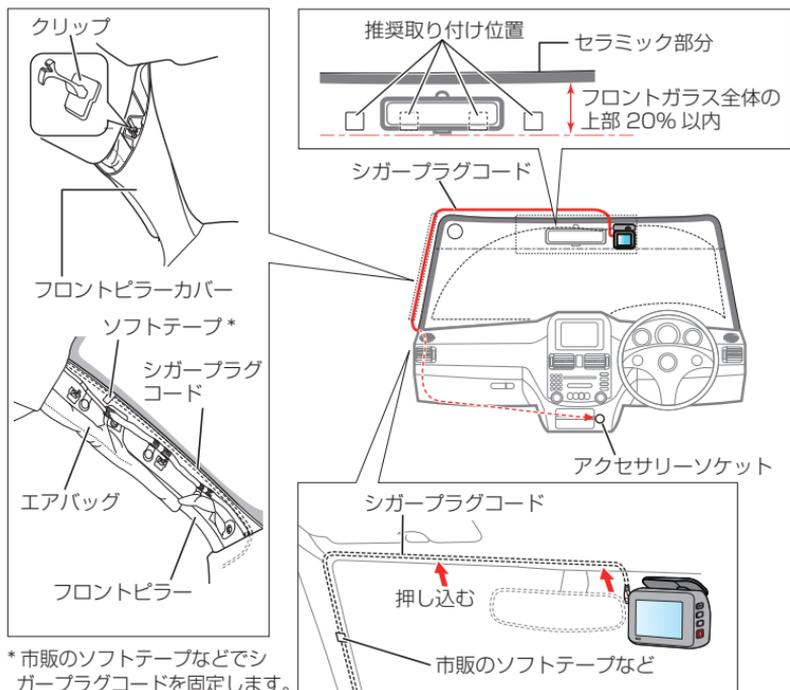
*写真はイメージです

10. エンジンスイッチで電源を入れ直す
メインユニットの角度調整を行ったときは、必ずエンジンスイッチで電源を入れ直してください。調整した角度は電源が入ったときに記憶されます。
11. エンジンスイッチを「オフ」にする

推奨取り付け位置

■ メインユニット

シガープラグコードの配線の引き回しを行ってください。

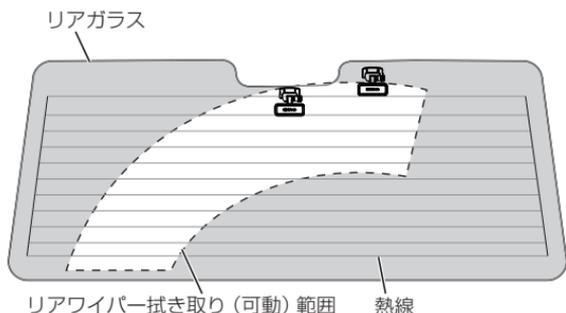


- 国土交通省の定める保安基準* に適合するように取り付けてください。
* 保安基準：道路運送車両の保安基準第 29 条（窓ガラス）
- ケーブル・コード類は運転やエアバッグ動作の妨げにならないように注意して取り付けてください。
- フロントピラーカバーが特殊クリップなどで固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- ケーブル・コード類は運転操作の妨げにならないように市販のソフトテープなどでまとめてください。
- 地デジや ETC 等のケーブル・コードといっしょに束ねないようにしてください。
- ケーブル・コードの配線をラジオアンテナの付近で行うと、ラジオの受信感度が下がることがあります。

取り付け / 配線のしかた

■ 2nd カメラ

リアガラスに熱線がある場合は、熱線に取付ブラケットの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。

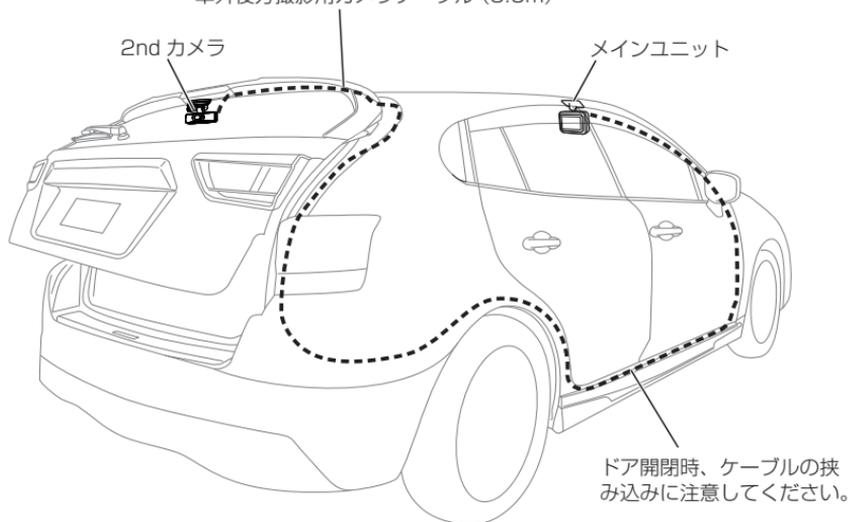


- ☞
- ・リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると、衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性があります。本機を使用する場合は、フィルムを貼らないでください。

● ケーブルの引き回し例

ケーブルを引き回すときは、21 ページの注意事項もご覧ください。

車外後方撮影用カメラケーブル (9.0m)



車載電源ケーブル CA-DR250 (別売品) で接続する

シガープラグコード (アクセサリソケット) を使用せずに接続できます。

CA-DR250 (別売品) では駐車録画機能は有効になりませんので、駐車録画機能を有効にした場合は CA-DR350 (別売品) で接続してください。(→ P.24)

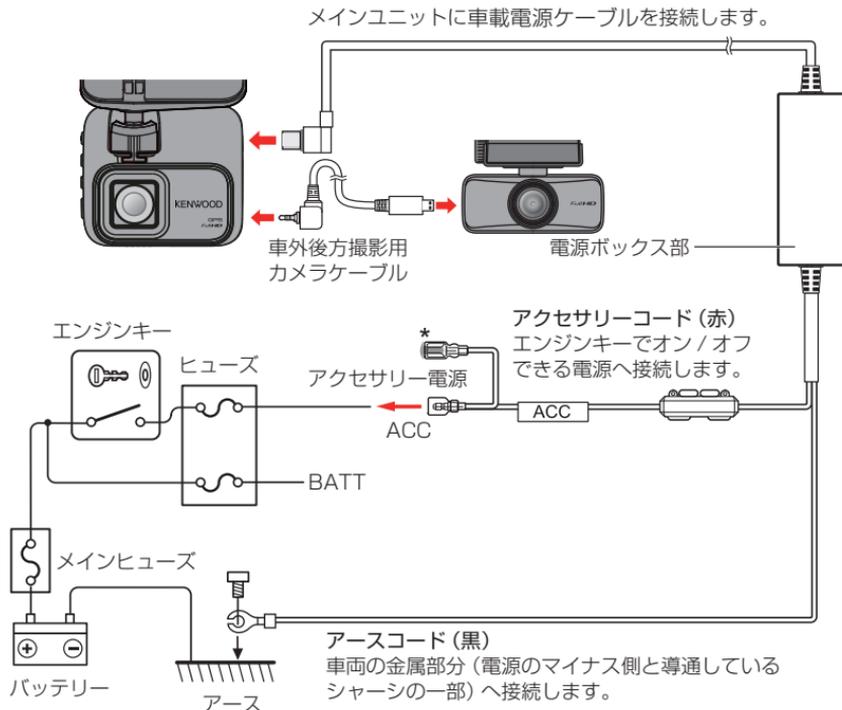
⚠ 注意 ・接続作業を行うときは、初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。



・接続をする前に車載電源ケーブル CA-DR250 (別売品) に付属の取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」、「使用上のご注意」をよくお読みいただき安全に取り付けてください。

1. 配線する

■ 配線のしかた (CA-DR250)



* アクセサリコードが接続できます。
接続しない場合はキャップを外さないでください。

取り付け / 配線のしかた

車載電源ケーブル CA-DR350 (別売品) で接続する (駐車録画機能を使う場合の接続方法)

シガープラグコード (アクセサリソケット) を使用せずに接続できます。
CA-DR350 (別売品) で接続して、「駐車モード設定」を「オン」にすると、エンジンキーをオフ後に駐車録画機能が有効になります。(→ P.30)

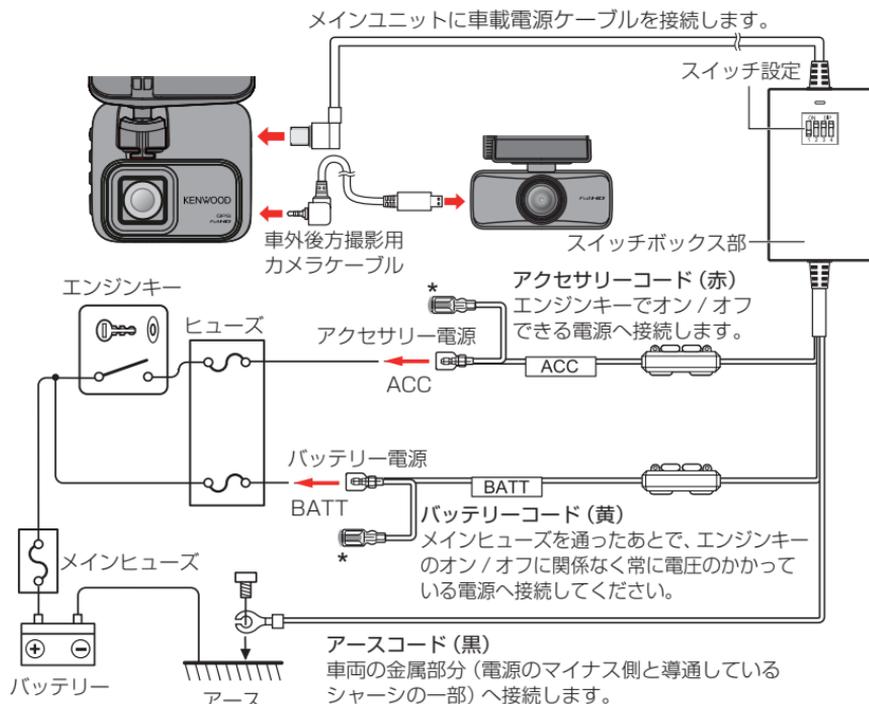
⚠注意 ・接続作業を行うときは、初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。

1. 「電圧カットオフ値設定」と「オフタイマー設定」を行う

CA-DR350 (別売品) に付属の取扱説明書を参照して、「スイッチ設定」を行ってください。
ACC OFF 後に駐車録画を行うためには、CA-DR350 のオフタイマー設定を 6 時間、12 時間または 24 時間にして下さい。

2. 配線する

■ 配線のしかた (CA-DR350)



* アクセサリコード、バッテリーコードが接続できます。

接続しない場合はキャップを外さないでください。

ご使用の前に

ご使用の前に、角度調整ツマミの緩み、両面テープのはがれなどが無いが、定期的に点検を行ってください。
運転の妨げや事故の原因となることがあります。

電源をオン / オフする

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にすると、本機の電源がオンになり常時録画が始まります。エンジンスイッチを「オフ」にすると電源がオフになります（付属のシガープラグコードを使用した場合）。

● 本機の電源を手動でオフにする

本機の電源がオンのときに [] ボタンを2秒以上押し続けると、電源がオフになります。

● 本機の電源を手動でオンにする

本機の電源がオフのときに [] ボタンを2秒以上押し続けると、電源がオンになります。



- ・エンジンスイッチがオフのときには手動で電源をオンにできません。

microSD カードを入れる / 取り出す

microSD カードを出し入れするときは、データの破損・消失防止のため、必ず以下の手順で「電源オフ」にした状態で行ってください。（駐車モード中は microSD カードを出し入れしないでください。）

1. 車両のエンジンスイッチを入れて、本機の電源をオンにする
2. LED インジケーター (P.14 ③ 参照) が緑点灯または交互点灯 (緑 / 橙) して「本機が電源オン状態」であることを確認する
3. 本機の電源を手動でオフにする
4. LCD 画面が消え、かつ、LED インジケーターが緑点灯状態であることを確認する
5. microSD カードを入れる / 取り出す

● microSD カードを入れる

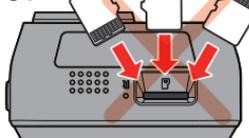
microSD カードを microSD カードスロットにカチッと音がするまで挿入します。カードの向きに注意してください。



microSD カードのロゴがある面をレンズ側にして、端子面から挿入する

● 間違った入れかた

端子面をレンズ側
側にしない
斜めに挿入
しない
向きを間違えない



- ・microSD カードスロットに microSD カードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。

● microSD カードを取り出す

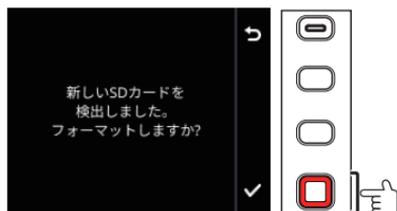
microSD カードを押して、microSD カードが少し飛び出したら引き抜きます。

ご使用の前に

microSD カードをフォーマットする

はじめて本機を使用するとき、または新しい microSD カードを使用するときは、microSD カードのフォーマット（初期化）が必要です。

確認画面が表示されたら、**[OK]** ボタンを押し、フォーマット（初期化）を行ってください。



録画する・写真を撮影する

本機には、電源オン時に「常時録画」、「イベント記録」、「イベント記録の手动録画」、「写真撮影」の録画機能があります。

車両のエンジン「オフ」時に「駐車録画」の機能があります。駐車録画機能を使うには、車載電源ケーブル CA-DR350 (別売品) が必要です。

microSD カードの録画領域がなくなると、古いファイルから上書きします。

音声を記録するかしないか、メニューの「音声記録設定」で選ぶこともできます。(→ P.42)

画質の種類

解像度 (画質) は 3 種類から設定することができます。(→ P.43)

録画可能時間は解像度の設定によって変わります。(→ P.33)

「明るさ」の設定で、撮影するときの映像の状態を調整することもできます。(→ P.43)



- 解像度の設定を変更するとき、microSD カードのフォーマットが必要になります。microSD カードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されるため、保存しておきたいファイルがある場合は、解像度の設定を変更する前にファイルをパソコンなどに保存しておいてください。

メインユニットと 2nd カメラの映像を切り替える

[**○**] (上から 2 番目) ボタンを押すたびに映像は下記の順番で切り替わります。映像の表示に関係なく、メインユニットと 2nd カメラの同時録画を行います。



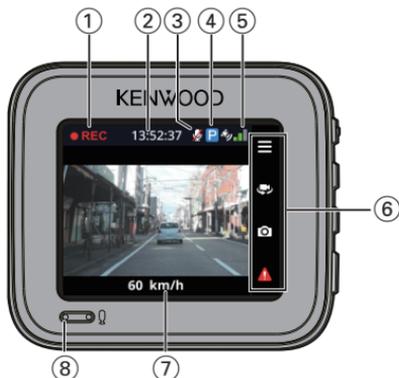
2nd カメラが接続されていないとき、または 2nd カメラが認識されていないときは、映像を切り替えることはできません。また、画面には「**2nd**」が表示されます。

2nd カメラの映像について

- 録画時：左右反転している鏡像 (バックミラーと同じ) になります。
- 再生時：正像で再生します。

録画する・写真を撮影する

録画・撮影画面のアイコン



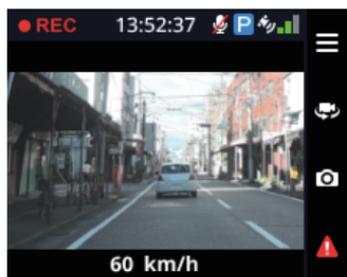
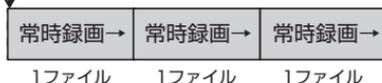
番号	表示	説明
①	● REC	録画中に表示され、●(赤)が点滅します。
②	時:分:秒	現在時刻を表示します。
③	音声記録 オフ	「音声記録設定」を「オフ」に設定したときに表示します。
④	P	「駐車モード設定」を「オン」に設定したときに表示します。
⑤	衛星受信 状態	GPSの受信状態を表示します。
⑥	ボタン ガイド	操作ボタンの機能を表示します。
⑦	km/h	現在の車速を表示します。
⑧	LEDインジ ケータ	点灯(緑):再生中、録画停止中、 駐車モード、 メニュー表示中、 手動電源オフ時 交互点灯(緑/橙):録画中

常時録画

本機の電源がオンになると、常時録画を開始します。常時録画は1ファイルごとの録画時間に分割して録画し、microSDカードの録画領域がなくなると、古いファイルから上書きして常時録画を続けます。

1ファイルごとの録画時間は1分です。

電源オン

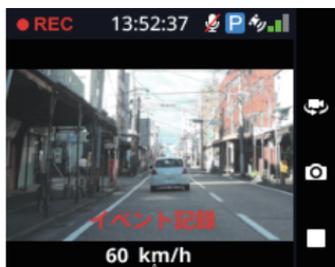
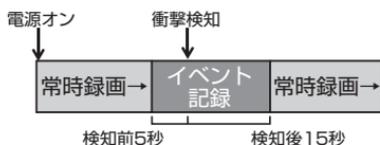


録画ファイルの保存場所

常時録画のファイルは、microSDカード内の「Video」フォルダに保存されます。(→ P.37)

イベント記録

常時録画中に突発的な衝撃や予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。衝撃を検知した時点の常時録画ファイルがイベント記録ファイルとして保存されます(常時録画のファイルとしては残りません)。1ファイルの録画時間は最大20秒(衝撃検知前5秒と検知後15秒)です。イベント記録は手動で記録することもできます。また、イベント記録中に[] ボタンを押すと、イベント記録を終了することもできます。



「イベント記録」が表示されます

録画ファイルの保存場所

イベント記録のファイルは、microSDカード内の「Event」フォルダに保存されます。(→ P.37)

衝撃を検知する感度	お買い上げ時は「4」に設定されています。設定については、「録画設定」の「イベント感度設定」をご覧ください。(→ P.43)
-----------	---



- イベント記録が記録されたとき、ファイルを保存しておきたい場合は上書きしないように microSD カードをすぐに抜いてください。詳しくは「microSD カードを入れる/取り出す」(→ P.25) をご覧ください。
- イベント記録が記録されたときは、イベント記録ファイルの後の常時録画ファイルにもイベント記録の映像が含まれていることがありますので、常時録画のファイルも必ずイベント記録ファイルと一緒に保存してください。
- 録画領域がなくなると、イベント記録の古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

■ イベント記録を手動で開始する(手動録画)

常時録画中に[] ボタンを押すと、常時録画を中断してイベント記録を手動で開始します。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。1ファイルの録画時間は最大20秒(ボタン押下前5秒と押下後15秒)です。



「イベント記録」が表示されます



録画する・写真を撮影する

録画ファイルの保存場所

イベント記録の手動録画ファイルは、microSDカード内の「Event」フォルダに保存されます(→ P.37)。

保存したい映像が「Event」フォルダに含まれていない場合は、直後に作成された「Video」フォルダも確認してください。



- ・メニュー表示中、駐車録画中など「△」アイコンが表示されていないときはイベントの手動録画はできません。
- ・録画領域がなくなると、イベント記録の古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

駐車録画

駐車録画機能を使用するには、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 (別売品)の電源接続とオフタイマー設定を6時間、12時間、または24時間にする必要があります。詳細はCA-DR350の取扱説明書を参照して下さい。さらに、本機の「駐車モード設定」を「オン」にする必要があります(→ P.31)。

約5分間車両に振動が加わらなかった場合に、駐車モードの監視が始まります。駐車モードでは車両の衝撃および撮影範囲内の動体を監視します。監視中に車両への衝撃または動体を検知すると、駐車録画を開始します。

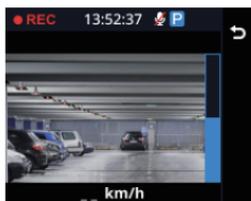
駐車録画ファイルの録画時間は20秒間(検知前5秒間と検知後15秒間)です。

衝撃または動体を検知



検知前5秒

検知後15秒



- ・駐車モード中はLCD画面がオフになります。いずれかのボタンを押すと、LCD画面を表示します。

録画ファイルの保存場所

駐車録画のファイルは、microSDカード内の「Parking」フォルダに保存されます。(→ P.37)



- ・駐車録画中に継続的に衝撃が加わった場合は、駐車モードから常時録画に切り替わります。その後、約5分間車両に振動が加わらなかった場合は、駐車モードの監視が再び始まります。
- ・駐車モードの監視が始まるまでの約5分間は常時録画として録画されます。
- ・ドアを閉めたときの振動を検知して駐車録画が始まる場合があります。
- ・駐車モード中は電力消費を抑えるため、衛星受信を止めています。
- ・車両のエンジンスイッチをオフにする前に、本機の[]ボタンで電源をオフにしたときは、駐車録画は動作しません。
- ・車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合(12.0V/24.0V未満)、駐車録画は動作しないことがあります。
- ・録画領域がなくなると、録画ファイルは古いファイルから上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

駐車録画機能をオンにする

駐車録画機能をオンに設定するときに、途中で「記憶域の割り当て」の設定が必要になり、microSD カードのフォーマットを行います。保存したいファイルがあるときはパソコンなどにファイルを保存してから設定を行ってください。

1. [⏪] ボタンを押す

メニューが表示されます。



2. [○] (上から2番目) ボタンまたは [○] (上から3番目) ボタンで「駐車モード」を選択し、[○] ボタンを押す



3. [○] (上から2番目) ボタンまたは [○] (上から3番目) ボタンで「駐車モード設定」を選択し、[○] ボタンを押す



4. [○] (上から2番目) ボタンまたは [○] (上から3番目) ボタンで「オン」を選択し、[○] ボタンを押す



5. 「駐車録画用の録画領域がありません。記憶域の割り当てを設定してください。」と表示されたら、[○] ボタンを押す

6. [○] (上から2番目) ボタンまたは [○] (上から3番目) ボタンで設定を選択し、[○] ボタンを押す

お買い上げ時は「4/4(駐車モードを使用しない)」に設定されています。「4/4(駐車モードを使用しない)」以外を選択してください。記録時間および写真撮影枚数の目安は microSD の容量によって異なりますので、「録画時間の目安」(→ P.33) をご覧ください。

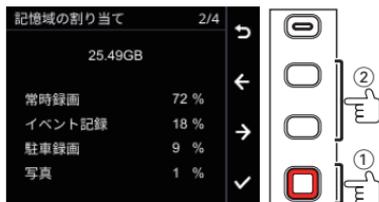
録画する・写真を撮影する

記録時間および写真撮影枚数は、撮影するシーンによっては少なくなる場合があります。

常時録画に容量を多く割り当てる (1/4)



イベント記録に容量を多く割り当てる (2/4)



駐車録画に容量を多く割り当てる (3/4)



駐車モードを使用しない (4/4)



・「記憶域の割り当て」の設定変更は、メニューの「システム設定」→「記憶域の割り当て」から行います。(→ P.44)

・割り当てを変更すると、microSDカードがフォーマットされるため、microSDカード内の録画ファイルが消去されます。設定を変更する前に必要な録画ファイルをパソコンなどに保存してから設定を変更してください。

・映像・写真の解像度は、メニューの「録画設定」→「解像度設定」で確認できます。(→ P.43)

7. 「SDカードをフォーマットします。全てのデータが消去されますが続けますか?」と表示されたら、[OK] ボタンを押す

フォーマットが開始され、「駐車モード」が「オン」に設定されます。



・監視、検出方法は、「駐車モード」の「検出方法設定」、「自動起動設定」、「衝撃検出感度設定」、「動作検出感度設定」で設定できます。(→ P.42)

録画時間の目安

記録時間はメインユニットと 2nd カメラで同時に撮影したときの時間です。

記憶域の割り当て	microSD カード容量	解像度設定	常時録画	イベント記録	駐車録画	写真
1/4 常時録画に容量を多く割り当てる	16GB	1080p	約 35 分	約 4 分	約 4 分	約 15 枚
		HDR 1080p	約 35 分	約 4 分	約 4 分	約 15 枚
		720p	約 67 分	約 7 分	約 7 分	約 15 枚
	32GB	1080p	約 70 分	約 8 分	約 8 分	約 30 枚
		HDR 1080p	約 70 分	約 8 分	約 8 分	約 30 枚
		720p	約 131 分	約 14 分	約 14 分	約 30 枚
	64GB	1080p	約 142 分	約 16 分	約 16 分	約 61 枚
		HDR 1080p	約 142 分	約 16 分	約 16 分	約 61 枚
		720p	約 267 分	約 30 分	約 30 分	約 61 枚
	128GB	1080p	約 277 分	約 31 分	約 31 分	約 119 枚
		HDR 1080p	約 277 分	約 31 分	約 31 分	約 119 枚
		720p	約 520 分	約 58 分	約 58 分	約 119 枚
2/4 イベント記録に容量を多く割り当てる	16GB	1080p	約 31 分	約 8 分	約 4 分	約 15 枚
		HDR 1080p	約 31 分	約 8 分	約 4 分	約 15 枚
		720p	約 59 分	約 15 分	約 7 分	約 15 枚
	32GB	1080p	約 62 分	約 16 分	約 8 分	約 30 枚
		HDR 1080p	約 62 分	約 16 分	約 8 分	約 30 枚
		720p	約 116 分	約 29 分	約 14 分	約 30 枚
	64GB	1080p	約 126 分	約 32 分	約 16 分	約 61 枚
		HDR 1080p	約 126 分	約 32 分	約 16 分	約 61 枚
		720p	約 237 分	約 60 分	約 30 分	約 61 枚
	128GB	1080p	約 246 分	約 63 分	約 31 分	約 119 枚
		HDR 1080p	約 246 分	約 63 分	約 31 分	約 119 枚
		720p	約 461 分	約 117 分	約 58 分	約 119 枚
3/4 駐車録画に容量を多く割り当てる	16GB	1080p	約 29 分	約 4 分	約 10 分	約 15 枚
		HDR 1080p	約 29 分	約 4 分	約 10 分	約 15 枚
		720p	約 55 分	約 7 分	約 18 分	約 15 枚
	32GB	1080p	約 58 分	約 8 分	約 20 分	約 30 枚
		HDR 1080p	約 58 分	約 8 分	約 20 分	約 30 枚
		720p	約 109 分	約 14 分	約 37 分	約 30 枚
	64GB	1080p	約 118 分	約 16 分	約 40 分	約 61 枚
		HDR 1080p	約 118 分	約 16 分	約 40 分	約 61 枚
		720p	約 222 分	約 30 分	約 75 分	約 61 枚
	128GB	1080p	約 230 分	約 31 分	約 79 分	約 119 枚
		HDR 1080p	約 230 分	約 31 分	約 79 分	約 119 枚
		720p	約 431 分	約 58 分	約 146 分	約 119 枚

録画する・写真を撮影する

記憶域の割り当て	microSD カード容量	解像度設定	常時録画	イベント記録	駐車録画	写真
4/4 駐車モードを使用 しない (お買い上げ時の 設定)	16GB	1080p	約39分	約4分	駐車録画の記 録領域はあり ません。	約15枚
		HDR 1080p	約39分	約4分		約15枚
		720p	約74分	約7分		約15枚
	32GB	1080p	約78分	約8分		約30枚
		HDR 1080p	約78分	約8分		約30枚
		720p	約146分	約14分		約30枚
	64GB	1080p	約159分	約16分		約61枚
		HDR 1080p	約159分	約16分		約61枚
		720p	約298分	約30分		約61枚
	128GB	1080p	約309分	約31分		約119枚
		HDR 1080p	約309分	約31分		約119枚
		720p	約580分	約58分		約119枚

* 常時録画の記録可能時間は microSD カードの残り容量で変わります。

手動で駐車モードを起動する

駐車モードは手動で起動することも可能です。

1. 録画中に[○] (上から2番目) ボタンを2秒以上押し続ける

駐車モードが起動し、監視を開始します。



- イベント記録中は駐車モードが起動しません。
- 録画中でもLCD画面がオフになっているときは、駐車モードが起動しません。

駐車モードを手動で解除する

1. 駐車モード中にいずれかのボタンを押す

駐車モード中の画面が表示されます。



2. [⏪] ボタンを押す

駐車モードは以下のように動作します。

駐車録画が追加されているとき：

- ① 「駐車録画を撮影しました。再生しますか？」と表示されます。
- ② メッセージ表示後に、以下のようにそれぞれ動作します。

- 5秒以内に[⏪] ボタンを押すと、駐車モードを解除して駐車録画ファイル選択画面が表示され、記録されたファイルを選択して再生できます。(→ P.39)
- 5秒以内に[⏪] ボタンを押す、またはそのままにしておく、「2台のカメラで記録を開始します」と表示され、駐車モードを解除して常時録画を開始します。

駐車録画が追加されていないとき：

- ① 「駐車モードで待機中ですが、終了してもよろしいですか？」と表示されます。
- ② メッセージ表示後、以下のようにそれぞれ動作します。
 - 5秒以内に[⏪] ボタンを押す、またはそのままにしておく、「2台のカメラで記録を開始します」と表示され、駐車モードを解除して常時録画を開始します。
 - 5秒以内に[⏪] ボタンを押すと、再び駐車モードになります。

録画する・写真を撮影する

写真を撮影する（静止画記録）

録画中に [O]（上から3番目）ボタンを押すと、メインユニットと2ndカメラで同時に写真を撮影します。

記録領域がなくなると、古いファイルから自動で上書きされます。



カメラアイコン

写真の保存場所

写真は、microSD カード内の「Photo」フォルダに保存されます。（→ P.37）



- ・録画中に写真を撮影しても録画は中断されません。
- ・メニュー表示中、駐車録画中などカメラアイコンが表示されていないときには写真を撮影できません。

写真の解像度

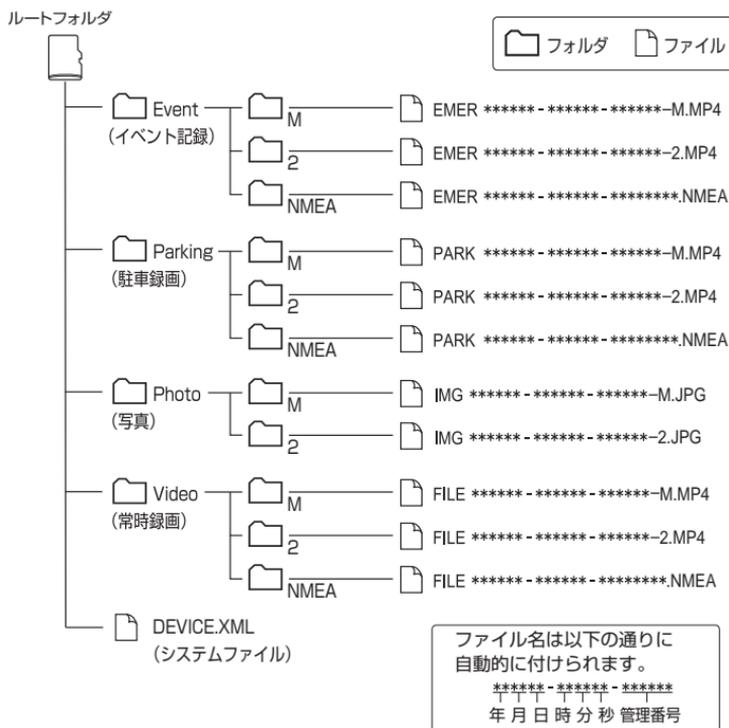
写真解像度は動画解像度と共通で、お買い上げ時は「HDR 1080p」に設定されています。設定については、「録画設定」の「解像度設定」をご覧ください。（→ P.43）

フォルダ / ファイル構成

microSD カードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。本機は独自システムにより録画ファイルを保存しているため、本機で記録した録画ファイルをパソコンなどでファイル削除やファイル名変更を行わないでください。

また、フォルダへファイル追加を行わないでください。

本機や KENWOOD ROUTE WATCHER II で正しくファイルを再生できなくなります。



● ファイル名の表記について

- ・ファイル名の「-M」はメインユニットで録画したファイル、「-2」は2ndカメラで録画したファイルです。

再生する

ファイル選択画面のアイコン

再生時の2ndカメラ映像は、録画中の画面表示と異なり正像で再生されます。



番号	表示	説明
①	録画の種類	録画の種類を表示します。
②	年 / 月 / 日 時 : 分 : 秒	録画日時を表示します。
③	ファイルの順番 / ファイル総数	選択されているファイルの番号 / ファイル総数を表示します。
④	ボタンガイド	操作ボタンの機能を表示します。
⑤	D	メインユニットと2ndカメラの2つの映像が録画されています。
⑥	▲	イベント記録のファイル

ファイルを再生する

録画ファイルや写真ファイルなどのファイルを選択して再生します。

1. [🔍] ボタンを押す

メニューが表示されます。



2. [🔍] (上から2番目) ボタンまたは [🔍] (上から3番目) ボタンで「ファイル再生」を選択し、[🔍] ボタンを押す



3. [○] (上から2番目) ボタンまたは [○] (上から3番目) ボタンで再生したいフォルダを選択し、[○] ボタンを押す



それぞれのフォルダには以下のファイルが保存されています。

常時録画	常時録画されたファイル
イベント記録	イベント記録されたファイルと手動で録画されたイベント記録のファイル
駐車録画	駐車録画されたファイル
写真	撮影した写真 (静止画記録) のファイル

選択したフォルダ内にあるファイルがサムネイル表示されます。



- 最新のファイルは左上に表示されます。
- ファイルは、録画または撮影した時間順に並びます。

4. [○] (上から2番目) ボタンまたは [○] (上から3番目) ボタンで再生したいファイルを選択し、[○] ボタンを押す

選択したファイルの再生が始まります。



再生中に他のファイルを選択する

[○] (上から2番目) ボタンを押すと前のファイルを、[○] (上から3番目) ボタンを押すと次のファイルを再生します。

早戻し / 早送り

[○] (上から2番目) を2秒以上押し続けると、早戻しします。[○] (上から3番目) を2秒以上押し続けると、早送りします。ボタンを離すと、再生に戻ります。

再生する

再生メニューの操作

1. ファイルの再生中に [] ボタンを押す

再生メニューが表示されます。



2. [] (上から2番目) ボタンまたは [] (上から3番目) ボタンで操作したい項目を選択し、[] ボタンを押す



再生メニューでは以下の操作ができます。

再生 / 一時停止	[] ボタンを押すと表示中のファイルを再生 / 一時停止します。 ※「写真」ファイルの再生中は表示されません。
2nd カメラ映像再生 / メインカメラ映像再生	[] ボタンを押すとメインユニットと 2nd カメラの映像を切り替えます。 ※ 2nd カメラを接続しないで録画したファイルの場合は表示されません。
2nd カメラ写真再生 / メインカメラ写真再生 (写真ファイル再生時)	
削除	[] ボタンを押すと「削除しますか?」と表示されます。もう一度 [] ボタンを押すと表示中のファイルが削除されます。

設定を変更する

各機能の設定を変更する

本機の設定を変更することができます。

1. [⏪] ボタンを押す

メニューが表示されます。



2. [⏪] (上から2番目) ボタンまたは [⏩] (上から3番目) ボタンで設定を変更したいメニューを選択し、[⏪] ボタンを押す

選択したメニューが表示されます。



3. [⏪] (上から2番目) ボタンまたは [⏩] (上から3番目) ボタンで設定を変更したい項目を選択し、[⏪] ボタンを押す

選択した項目が表示されます。



4. [⏪] (上から2番目) ボタンまたは [⏩] (上から3番目) ボタンで設定を選択し、[⏪] ボタンを押す

設定が変更されます。



各項目の内容については、「メニューの一覧」をご覧ください。(→ P.42)



- 常時録画に戻るには、[⏪] ボタンを録画画面になるまで押します。
- メニュー画面のまま1分間操作をしないと常時録画に切り替わります。
- メニュー画面のままエンジンをオフにすると、設定が記憶されません。

設定を変更する

メニューの一覧

*お買い上げ時の設定

■ ファイル再生

項目	設定	説明
常時録画	-	フォルダを選択して目的のファイルを再生します。 また、ファイル再生中には、一時停止や削除などを行うことができます (→ P.40)。
イベント記録		
駐車録画		
写真		

■ 音声記録設定

項目	設定	説明
音声記録設定	オン* オフ	録画時の音声記録機能を設定します。

■ 駐車モード

「駐車モード設定」を「オン」にすると、「検出方法設定」、「自動起動設定」、「衝撃検出感度設定」、「動作検出感度設定」の設定ができます。

項目	設定	説明
駐車モード設定	オン オフ*	駐車モード機能を設定します。
検出方法設定	動作&衝撃検出* 衝撃検出	駐車モードの録画記録を開始する検知方法を設定します。 衝撃検出：車両の衝撃を検知します。 動作検出：撮影範囲内の動体を検知します。 「動作&衝撃検出」を選択すると、検出レベル（目安）を表示します。
自動起動設定	入りやすい 普通* 入りにくい	駐車モードを自動で起動させるセンサー感度および駐車時の常時録画に戻るときのセンサー感度を設定します。 入りやすい：駐車モードが起動しやすいが、常時録画に戻りにくい 入りにくい：駐車モードが起動しにくいが、常時録画に戻りやすい
衝撃検出感度設定	低 普通* 高	駐車モードのときに本機に加わる衝撃の感度：「低」（G 値：0.4G）～「高」（G 値：0.2G）を設定します。 低（検知しにくい） ↔ 高（検知しやすい）
動作検出感度設定	低 普通* 高	撮影範囲内の人や車両の動きなどを検知する感度を設定します。 低（検知しにくい） ↔ 高（検知しやすい）



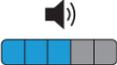
- ・駐車録画機能を有効にするには、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 (別売品) の電源接続が必要になります。(→ P.24)

■ 録画設定

項目	設定	説明
解像度設定	1080p HDR 1080p * 720p	常時録画 / イベント記録 / 駐車録画 / 写真の画質を設定します。 「HDR 1080p」を選択すると、フロントカメラのHDR機能がオンになります。2ndカメラのHDR機能は解像度設定によらず、常にオンになります。 ※ HDR 機能をオンにすると明暗差が大きなシーンでも白トビや黒つぶれを軽減します。 ※変更するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。
明るさ	-1..0*..1	前方録画映像の露出(明るさ)レベルを選択することができます(マイナス:暗⇄プラス:明)。 ※映像が暗い場合はプラス方向に調整してください。 逆に映像が明るい場合はマイナス方向に調整してください。
イベント感度設定	 低 高	イベント記録の衝撃検知の感度:「低」(G値:3.0G) ~ 「高」(G値:0.5G)を設定します。 低(検知しにくい) ↔ 高(検知しやすい)
情報記録設定	緯度 / 経度 * G センサー値 記録しない	映像の右下に記録される情報(緯度 / 経度またはGセンサー値)を選択します。 記録された情報を削除することはできません。
速度情報表示	オン * オフ	映像の右下に記録される速度情報表示の設定をします。
カスタム文字設定	—	映像の右下に記録される文字を設定できます。文字数は最大で12文字です。 [<input type="checkbox"/>] (上から2番目) ボタン / [<input type="checkbox"/>] (上から3番目) ボタン: カーソルが左右に1文字ずつ移動します。 [<input checked="" type="checkbox"/>] ボタン: 選択中の文字を入力文字として確定します。 文字入力完了したら、「OK」を選んで[<input checked="" type="checkbox"/>] ボタンを押して終了します。

設定を変更する

■ システム設定

項目	設定	説明
衛星受信状態	—	衛星信号の受信状態を表示します。
日付 / 時刻設定	自動 (衛星データ) * 手動	「手動」は日付と時刻を手動で設定できます。 [<input type="radio"/>] (上から 2 番目) ボタン / [<input type="radio"/>] (上から 3 番目) ボタンで数値を変更して [<input type="radio"/>] ボタンで確定します。
システム音設定	オン * オフ	警告音およびボタン操作時の操作音を設定します。
音量設定		録画ファイルを再生するときの音量レベルを 5 段階 (消音 / 1 ~ 5) で設定します。 警告音およびボタン操作時の操作音も変更されます。
LCD 表示時間設定	常時表示 * 情報表示 10 秒 1 分 3 分	常時録画の画面表示がオフになるまでの時間を設定します。(→ P.45) 画面表示をオンにするには、本機のいずれかのボタンを押します。 「情報表示」は常時表示されます。 ※駐車モード中にいずれかのボタンを押して駐車モード画面を表示した場合も、この設定に従って画面表示がオフになります。駐車モード中は「情報表示」も画面表示がオフになります。
言語	English 日本語 *	表示する言語を設定します。
記憶域の割り当て	1 / 4 2 / 4 3 / 4 4 / 4 *	常時録画 / イベント記録 / 駐車録画 / 写真を保存するための記憶領域を設定します。(→ P.31) 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから設定を変更してください。 ※変更するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。
初期値に戻す	—	メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻します。 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。 ※実行するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

■ フォーマット

説明
microSD カードをフォーマットします。 ※実行するとフォーマットされ、すべてのファイルが消去されます。(→ P.46) 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。

LCD 表示時間の設定を変更する

LCD 表示時間の設定は「常時表示」、「情報表示」、「10 秒」、「1 分」、「3 分」の 5 つから選択できます。

お買い上げ時は「常時表示」に設定されています。

1. [⏪] ボタンを押す

メニューが表示されます。



2. [○] (上から 2 番目) ボタンまたは [○] (上から 3 番目) ボタンで「システム設定」を選択し、[○] ボタンを押す



3. [○] (上から 2 番目) ボタンまたは [○] (上から 3 番目) ボタンで「LCD 表示時間設定」を選択し、[○] ボタンを押す



4. [○] (上から 2 番目) ボタンまたは [○] (上から 3 番目) ボタンで設定したい時間を選択し、[○] ボタンを押す

LCD 表示時間の設定が変更されます。



● 情報表示画面

「情報表示」に設定した場合、常時録画は 10 秒後、イベント記録は録画終了後に情報表示画面に切り替わります。

駐車モード画面を表示しているときは、10 秒後に画面が消えます。



番号	表示	説明
①	● REC	録画アイコン (録画中、●アイコンが点滅します)
②	年 / 月 / 日	カレンダーを表示します
③	時 : 分 : 秒	現在時刻を表示します
④	km/h	現在の速度を表示します

設定を変更する

microSD カードをフォーマットする

microSD カードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されるため、保存しておきたいファイルがある場合はフォーマットする前にファイルをパソコンなどに保存しておいてください。



- ・フォーマットしてもmicroSDカードエラーが表示され続ける場合は、新しいmicroSDカードと交換してください。
- ・microSD カードの抜き差しは電源が「オフ」の状態で行ってください。詳しくは「microSD カードを入れる / 取り出す」(→ P.25) をご覧ください。

1. [⏪] ボタンを押す

メニューが表示されます。

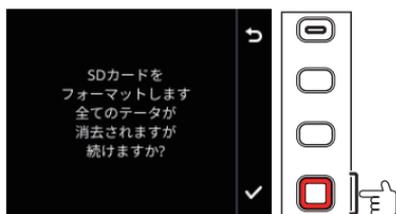


2. [⏪] (上から2番目) ボタンまたは [⏩] (上から3番目) ボタンで「フォーマット」を選択し、[⏪] ボタンを押す



3. [⏪] ボタンを押す

microSD カードがフォーマットされます。



パソコンツールを使う

ビューアソフト (KENWOOD ROUTE WATCHER II) は、本機で録画した映像を表示するためのパソコンツールです。

インストールする

インストールをするときはパソコン環境を「管理者権限」にしてインストールしてください。対応 OS 等の詳細は <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> をご覧ください。なお、本機ご購入時点に対応している OS であっても、今後の Windows/Mac の OS 更新に伴い、対応外となる場合があります。

1. <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> で型名を選んでインストーラーをダウンロードする
2. パソコンにインストールする

録画ファイルの再生

1. microSD カードを本機から取り出し、カードリーダー（市販品）を使用してパソコンに接続する
2. KENWOOD ROUTE WATCHER II を起動する



- KENWOOD ROUTE WATCHER II の使いかたについては、KENWOOD ROUTE WATCHER II の取扱説明書をご覧ください。
- Mac の QuickTime Player などで再生すると microSD カード内のファイル構成が変更されてしまうため、その microSD カードを本機に挿入するとフォーマットを要求されます。必要なファイルが保存されている場合は、本機 microSD カードを挿入する前にパソコンに保存してください。

故障かな？と思ったら

次の一覧から該当する症状、または表示されるメッセージを見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

● FAQ (よくあるご質問)

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

「故障かな？と思ったら」と合わせてこちらもお覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>

共通

症状	原因	対処方法
電源がオンにならない/ 動作が不安定になっている。	本機に電源が供給されていない。	シガープラグ側の差し込みと、本体側の差し込みを確認してください。(→ P.20)
	ヒューズが切れている。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	—	本体の RESET ボタンを押してください。(→ P.12)
microSD カードを認識しない。	microSD カードスロットに microSD カードが入っていない。	microSD カードを microSD カードスロットに挿入してください。(→ P.25)
	microSD カードがフォーマットされていない。	フォーマットを行ってからご使用ください。(→ P.46)
	microSD カードの読み込み / 書き込みができなくなっている。	microSD カードをフォーマットしてください。(→ P.46)
	フォーマットしても microSD カードエラーが表示される。	それでも症状が改善しない場合は、microSD カードを交換してください。
録画ファイルが見つからない。	録画領域に空きがないため、古いファイルが上書きされた。	必要な録画ファイルをパソコンに保存してから録画を開始してください。
	16GB より容量が少ないため録画ファイルを作成できない。	容量が16GB~128GBの microSD カードをご使用ください。(→ P.13)
	設定の変更により microSD カードがフォーマットされてしまった。	録画設定の解像度設定およびシステム設定の記録域の割り当てを変更する場合は、microSD カードのフォーマットが必要になります。設定を変更する場合はご注意ください。

症状	原因	対処方法
録画されたファイルの映像が鮮明でない。	レンズが汚れている。	柔らかい布などで乾拭きしてください。
	保護シートが剥がされていない。	保護シートを剥がしてください。 (→ P.20)
パソコンで削除したファイルが本機の再生リストを見ると残っている。	本機は独自システムにより録画ファイルを保存しているため、本機で記録した録画ファイルをパソコンなどで削除やファイル名変更しても、本機へ挿入すると復元する。	ファイル削除を行う場合は、本機の再生サブメニューで行うか(→ P.40)、本機で microSD カードのフォーマットを実施してください。 (→ P.46)
録画を開始するときに、「2ndカメラが未接続です。1台のカメラで記録を開始します。」というメッセージが表示され、画面に「  」が表示されたままになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・2ndカメラが正しく接続されていない。 ・車外後方撮影用カメラケーブルが途中でかみ込みなどで断線している。 ・車外後方撮影用カメラケーブルのコネクタ(L型/ストレート型)の端子が汚れている。配線時などに汚れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2ndカメラの接続を確認してください。(→ P.20) ・車外後方撮影用カメラケーブルの配線を確認してください。 ・汚れをふき取ってください。
2ndカメラの映像に切り替わらない。		
2ndカメラの映像が記録されていない。		
「ファイル再生」の選択画面で「  」が表示される。	何らかの原因で再生できないファイルが録画された。	必要なファイルをパソコン等に保存してから microSD カードを本機でフォーマットしてください。(→ P.46) それでも同じ表示が出る場合は、新しい microSD カードに交換してください。
LCD 画面がくもる。	極端に車内が高温から低温になった(本機に直接エアコンの送風が当たっている)。	故障ではありません。しばらくすると回復します。長時間回復しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオにノイズが入る。 ・ラジオの受信感度が悪い。 	車両側のラジオアンテナコードやフィルムアンテナ付近に本機のケーブルを配線している。	本機のケーブル配線をラジオアンテナコードやフィルムアンテナから遠ざけてください。

故障かな？と思ったら

駐車録画

症状	原因	対処方法
駐車録画ができない。	別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 を使用していない。	本機の駐車録画機能を有効にするには別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 が必要になります。CA-DR350 を接続してください。(→ P.24)
	接続された CA-DR350 の「オフタイマー設定」が OFF になっている。	CA-DR350 の取扱説明書を確認し、スイッチ設定を行ってください。
	「駐車モード」が「オン」になっていない。	「駐車モード設定」で駐車モードを「オン」にしてください。(→ P.31)
録画ファイルが見つからない。	駐車録画中に衝撃を複数回検知したため、常時録画に切り替わった。	録画ファイルは「Video」フォルダに保存されます。「Video」フォルダをご確認ください。(→ P.37)
別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 のタイマー設定時間より前に録画が終わっている。	車両のバッテリーの電圧が別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 のバッテリー上がり防止設定値(電源カットオフ値設定)以下になった。	別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 のタイマー時間設定を短くするか、バッテリー上がり防止設定値を下げてください。最小値まで下げても症状が改善されない場合、車両バッテリーの電圧が設定値電圧より低い可能性があります。車両販売店でバッテリーの電圧を確認してください。
渋滞などの低速走行中、駐車モードが起動してしまう(録画ファイルが、「Parking」フォルダに記録されている)。	「自動起動設定」で設定された振動のセンサー感度が低く、駐車モードが起動しやすい設定になっていた。	「自動起動設定」を「入りにくい」に設定してください。(→ P.42)
走行を開始しても駐車モードが解除されず、常時録画にならない。	「自動起動設定」で設定された振動のセンサー感度が低く、駐車モードから常時録画に戻りにくい設定になっていた。	「自動起動設定」を「入りにくい」に設定してください。(→ P.42)

イベント記録

症状	原因	対処方法
車両に衝撃がないときにイベント記録の警告音が鳴り続けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・急な坂道を走行している。 ・正しい位置に取り付ける前に電源をオンにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本機を正しい位置に取り付けてから電源をオフ/オンしてください。 ・録画設定の「イベント感度設定」で衝撃検知の感度を下げてください。(→ P.43)
残したい映像が見つからない。	残したい映像がイベント記録時間に収まらなかった。	常時録画を保存しているフォルダから、イベント記録後に作成されたファイルを確認してください。

KENWOOD ROUTE WATCHER II

症状	原因	対処方法
KENWOOD ROUTE WATCHER II が起動しない。	管理者権限でのインストールをしていない。	管理者権限でインストールしてご使用ください。(→ P.47)
2nd カメラの映像がメインユニットの映像とリンクして再生されない。	最新のソフトウェアを使用していない。	最新のソフトウェアをダウンロードしてください。(→ P.47)

故障かな？と思ったら

表示メッセージ

メッセージ	原因	対処方法
新しいSDカードを検出しました。フォーマットしますか？	<ul style="list-style-type: none">・microSDカードが認識できない形式でフォーマットされていない。・パソコンなどでmicroSDカード内のファイルの変更や追加・削除を行った。	[] ボタンを押して、フォーマットを行ってください。
	microSDカードが故障している。	microSDカードを本機でフォーマットしてください。 (→ P.46) フォーマットしても、同じ表示が出る場合は、新しいmicroSDカードを入れてください。 (→ P.25)
SDカードエラーです。フォーマットをお試してください。	正常に書き込みできないmicroSDカードが挿入されている。	microSDカードを本機でフォーマットしてください。 (→ P.46) フォーマットしても、同じ表示が出る場合は、新しいmicroSDカードを入れてください。 (→ P.25)
SDカードが入っていません	<ul style="list-style-type: none">・microSDカードを入れていない状態で電源をオンにした。・microSDカードが抜けたことに気づかずに、microSDカード関連のメニュー設定を行った。	microSDカードを入れてください。(→ P.25)
他のSDカードを入れてください	microSDカードのデータが読めない。	新しいmicroSDカードを入れてください。(→ P.25)
2ndカメラが未接続です。1台のカメラで記録を開始します。	2ndカメラが接続されていない。	2ndカメラを接続してください。(→ P.20)
	2ndカメラのケーブルが正しく接続されていない。	2ndカメラのケーブルの接続を確認してください。

付録

モニター画面について

- ・画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- ・画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- ・極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったり、残像が見えることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- ・画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- ・液晶画面の特性により、画面を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。
- ・極端に車内が高温から低温になると（直接エアコンの送風口を当てる）LCD画面がくもる場合があります。これは故障ではありません。しばらくすると回復します。長時間回復しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

商標について

- ・Windows、Windows Media は 米 国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - ・Mac は米国およびその他の国で登録された米国 Apple, Inc. の商標です。
 - ・Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
 - ・本製品は AVC Patent Portfolio License に基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
- 1) 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC Video）を記録する場合
 - 2) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、または MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの）を再生する場合

ソフトウェアについて

本製品には、以下に記載しています第三者のソフトウェアが含まれています。各ソフトウェアについては、後述するライセンス条件が適用されます。

Portable UPnP SDK

適用ライセンス：BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

Konatu Font

適用ライセンス：MIT License

Google Noto Font

適用ライセンス：SIL Open Font License 1.1

第三者のソフトウェアに適用されるライセンス条件

BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/ or other materials provided with the distribution.
- * Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MIT License

Copyright (c) 2012 MASUDA mitiya

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF

CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

SIL Open Font License 1.1

Copyright 2015-2021 Google LLC. All Rights Reserved.

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at:
<https://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26
February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such.

This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.

- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.
- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.
- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社 JVC ケンウッド (以下、「ライセンサー」) が提供する本体組み込みソフトウェア (以下、「許諾ソフトウェア」) はライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有し、本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致します。お客様 (以下、「使用者」) が「許諾ソフトウェア」を搭載した本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては、本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアについて」を必ずご覧ください。

第 1 条 (総則)

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用权 (第 3 条第 1 項に定める例外を除く) を使用者に許諾します。

第 2 条 (使用权)

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部若しくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変、若しくは貸与することができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否に関わらずいかなる目的でも頒布、ライセンス、若しくはサブライセンスをすることができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書又はヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部又は一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの取扱い、複製を行ってはならないものとします。

第 3 条 (許諾条件)

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア (その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む) の使用权については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。

2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のコード解析作業を行ってはならないものとします。

第 4 条 (許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサー又はライセンサーに許諾ソフトウェアの使用権と再許諾権を許諾した原権利者 (以下、原権利者) に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用权以外の権利を有しないものとします。

第 5 条 (ライセンサーの免責)

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使することにより生じた使用者若しくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第 6 条 (第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第 7 条 (秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示又は漏洩しないものとします。

第 8 条 (契約の解除)

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、又はそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第 9 条 (許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が解除された場合、使用者は、契約が解除された日から 2 週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第 10 条 (著作権保護)

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他の一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとします。

第 11 条 (輸出規制)

1. 許諾ソフトウェア及び関連書類等を日本国外に輸出すること(インターネット等を利用した日本国外への送信を含みます)はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国及びアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法及び日本国の法律(アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザ、エンドユーザによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます)に従うことに同意するものとします。

第 12 条 (その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項若しくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。

主な仕様

メインユニット

電源電圧	DC5.0V (12/24V 車両用シガープラグコード付属)
録画時消費電流 (最大)	355mA (900mA)
駐車録画待機時消費電流	325mA
測位衛星	GPS/QZSS (準天頂衛星) /GLONASS
G センサー	イベント記録設定：6段階/駐車録画設定：3段階
液晶サイズ	2.0V 型 フルカラー TFT 液晶
撮影素子	1/2.7 型 フルカラー CMOS
最大記録画角	水平：約 122° / 垂直：約 63° / 対角：約 150°
F 値	F1.8
HDR 機能	対応
動作温度範囲	-10℃～+60℃
最大記録解像度	1920 × 1080 (約 207 万画素)
フレームレート	27.5fps
記録方式	常時録画 / イベント記録 / 手動録画 / 駐車録画 * * 駐車録画は別売りの「CA-DR350」が必要
常時録画ファイル単位	1 分
録画フォーマット (動画)	H.264 (MP4)
録画フォーマット (静止画)	JPEG 準拠
記録映像再生方法	本体、もしくは Windows 標準の Windows Media Player など 専用ビューアソフト対応* (当社ホームページよりダウンロード) * 専用ビューアソフト以外での再生では、音声出力に対応していません。
記録メディア	microSD カード 16GB～128GB 対応 V30 以上推奨
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	W : 60.8mm/H : 54.2mm/D : 33.1mm ブラケット (テープ貼り付け) 装着時高さ：最大 74.5mm
質量 (重さ) (ブラケット/ケーブル含ま ず、microSDカード含む)	72g
電源ケーブル長	3.5m (シガープラグコード)

2nd カメラ

撮影素子	1/2.7 型 フルカラーCMOS
最大記録画角	水平：約 126° / 垂直：約 63° / 対角：約 150°
F 値	F1.8
HDR 機能	対応 (常時 ON)
動作温度範囲	-10℃～+60℃
最大記録解像度	1920 × 1080 (約 207 万画素)
フレームレート	27.5fps
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	W : 60.0mm/H : 25.0mm/D : 28.6mm ブラケット (テープ貼付け) 装着時高さ : 最大 53mm
質量 (重さ) (ブラケット/ケーブル含まず)	26g
車外後方撮影用カメラ ケーブル長	9.0m

この装置はクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

● システム更新について

本機のシステムファームウェアを更新します。アップデートに関する情報やアップデート手順は、当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/support/car/> をご覧ください。



保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より3年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）
0570-010-114（携帯電話からはナビダイヤル）
045-450-8950（一部IP電話など）/ FAX 045-450-2308
受付時間などは、裏表紙を参照してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（→ P.48）または当社ホームページのFAQ（→ P.48）を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

● 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

- 製品をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。
- 保証期間内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外し、または取り付けの作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

保証規定

- 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - 本保証書のご提示のない場合。
 - 本保証書に形名 / 製造番号の印字のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、結露や水濡れあるいは不当な改造、修理、加工による故障および損傷。(取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、責任を負いません。)
 - 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - 一般車載用途以外に使用された場合の故障および損傷。(例えば、業務用の長時間使用、船舶<船舶用製品を除く>、直流電源装置を用いた一般家庭での使用等)
 - 製造番号の改変および、取り外した製品。
 - 消耗部品(例えば、SDメモリーカード、乾電池、充電電池等)の交換。
 - 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
 - 予告なく変更や追加される、あるいは規格の異なる記録媒体、アプリケーション、コンテンツ、放送および電源電圧による不具合。(インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく休止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。)
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡します。

※ 本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。

※ 保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※ 本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

形名／製造番号		※お買い上げ日	
DRV-MR480		年 月 日	
		保証期間（お買い上げ日より）	
		本体： 3 年	
※お 客 様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号 ()		
※ 販 売 店	店名・住所		
	電話番号 ()		

公開用

様

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状況で万が一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 無料修理の条件について、詳しくは本ページ裏側の「保証規定」をご覧ください。
- 修理は、本保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
 0570-010-114 (携帯電話からはナビダイヤル)
 045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308
 住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
 受付時間 月曜～金曜： 9:30～18:00
 土曜： 9:30～12:00、13:00～17:30
 (日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。